

図書館だより

宮城県仙台三桜高等学校
司書版 No.13
2020.12.16



もうすぐ冬休みです。図書館は冬休み中も通常営業です。
常時換気をしています。足下の冷えが気になる方は膝掛けなど
をお持ちください。

《特別貸出はじまる！》

12月17日（木）から

一人 5冊まで 返却日:1月8日(金)

※開講式は1月6日(水)です。ご注意ください。

読みたかったあの本この本、この機会に大いに利用してください。

レポート作成などじっくり取り組む課題のある人にとっても、
本を長期間借りていられるのは良いですね。

【冬季休業中の休館について】

12月29日(火)～1月3日(日)はお休みします。用事のある方はお早めにご利用ください。

司書が留守の時に
本を借りる人は、
カウンター上の所
定の用紙に記入し
てくださいね。



読書感想画コンクールのお知らせ (自由参加型コンクール)

読書した感動を絵にしてみませんか？

出品部門：自由読書の部、課題読書の部（課題図書は購入済み）

締め切り：**令和3年1月7日（木）**【学校で取りまとめて出品】

サイズ：36×25cm以上55×40cm以下

用紙：画用紙、ケント紙、キャンバスボード、マニラ紙、ボール紙

（枠張りキャンバスや木製パネルなど厚みのあるモノは不可）

画材：クレヨン、パステル、水彩・油彩絵具など自由。版画、はり絵も可。

詳しくは司書まで。応募要項と応募用紙があります。

※webでも公開されています。「第32回読書感想画中央コンクール」で検索。



アメリカ雑誌「Times」が選んだ 今年の必読書100選

雑誌「Times」が選んだ必読書100選
の中に**日本人作家の本が4冊**が入って
います。

1冊は柳美里の『JR上野駅公園口』で
す。

ほかの3冊は以下の通り。

夏物語

NO IMAGE

川上未映子
(著)
文藝春秋

夏物語

川上未映子(著)
文藝春秋 2019

昨年度の本屋大賞
ノミネート作品。精子
提供による出産を題
材にした作品。世界
十数カ国で翻訳。

地球星人

NO IMAGE

村田沙耶香
(著)
慎重さ

地球星人

村田沙耶香(著)
新潮社 2018

『コンビニ人間』で
2016年に芥川賞受
賞。
独特の村田ワール
ド。衝撃的結末が話
題に。

おばちゃん たちの いるところ

NO IMAGE

松田青子
(著)
中央公論新社

おばちゃん たちの いるところ

松田青子(著)
中央公論新社 2019

追い詰められた現
代人のもとに強力な
助っ人(幽霊)がやっ
てくる。愉快的連作短
編集。

話題の本『JR上野駅公園口』全米図書賞受賞

【全米図書賞受賞】

米国で最も権威ある文学賞の一つ、全米図書賞が18日に発表され、翻訳文学部門に柳美里の「JR上野駅公園口」（英題Tokyo Ueno Stationモーガン・ジャイルズ訳）が選ばれました。

全米図書賞は1950年創設。翻訳文学部門は、1年間に米国の出版社で出版された作品が対象です。日本語からの翻訳作品が受賞したのは、多和田葉子の『献灯使』（2018）以来です。

【柳美里(ゆう みり)】

柳美里は横浜市出身。高校を中退後、劇団で演劇を学び、演劇ユニットを立ち上げて劇作家として活躍。1993年に岸田國士戯曲賞を受賞しました。

翌年、小説家としてデビューして2017年芥川賞を受賞。

東日本大震災の後、福島県相馬市に書店「フルハウス」を開きました。

「JR上野駅公園口」(河出文庫) 柳美里著
河出書房新社 2017(単行本は2014)

東京オリンピック前年に、上野駅に降り立った男の壮絶な人生を描く。
福島県相馬市出身の男が主人公です。

※英語版の翻訳はモーガン・ジャイルズ

三桜高校の

柳美里の本

三桜高校には12冊の作品があります。

- 1 JR上野駅公園口 (文庫) 河出書房新社 2017
- 2 ねこのおうち 河出書房新社 2016
- 3 ファミリー・シークレット 講談社 2010
- 4 雨と夢のあとに 角川書店 2005
- 5 石に泳ぐ魚 新潮社 2002
- 6 ルージュ 角川書店 2001
- 7 命 小学館 2000
- 8 水辺のゆりかご (文庫) 角川書店 1999
- 9 仮面の国 新潮社 1998
- 10 ゴールドラッシュ 新潮社 1998
- 11 家族シネマ 講談社 1997
- 12 フルハウス 文藝春秋 1996

家族シネマ

NO IMAGE

柳美里 (著)
講談社

↑芥川賞受賞作

※翻訳者モーガン・ジャイルズのコメント

柳美里の文体に恋をし、この小説が出版されるとすぐに、メールで作者本人に翻訳を直談判。2年かけて出版社を口説き、出版にこぎ着けたそうです。(12月11日付 朝日新聞より)

亡くなって一年

「医者井戸を掘る」 中村哲 医師 (2019.12.04没)

中村医師が銃撃されて一年が経ちました。彼は、現地の人々とともに、荒野を緑化させ、農業で生活できるようにしました。彼が亡くなった後も、水路建設事業は継続されています。「カカ・ムムド」(ナカムラのおじさん)と呼ばれ親しまれていました。

医者
井戸を掘る

NO IMAGE

中村哲 (著)
石風社

人は愛する
に足り、真
心は信じる
に足る

NO IMAGE

中村哲, 澤地久
枝 (著)
岩波書店



小さな巨人 緒方貞子氏 (2019.10.22没)

日本人初の国連難民高等弁務官。アフガニスタン支援政府特別代表を歴任。現地に飛び、自分の目で見て判断する姿勢が高く評価されました。実際に対面した人は、小柄な姿に驚いたそうです。難民キャンプには「サダコオガタ」と名付けられた女の子が複数いました。

緒方貞子
戦争が終わ
らないこの
世界で

NO IMAGE

小山靖史 (著)
NHK出版